

## 令和3年度 第1回 環境審議会 議事録

- 1 日 時 令和3年6月21日（月）午後2時30分～午後3時30分
  - 2 会 場 豊明市商工会館 1階 イベントホール
  - 3 出席者 委 員 15名出席 4名欠席  
市 長  
事務局 経済建設部長、環境課長、環境課長補佐兼ごみ減量推進担当係長、環境保全担当係長、環境保全係員  
傍聴者 0名
  - 4 議事 （1）「豊明市家庭系ごみ減量化実施計画の中間報告について」
  - 5 議事内容
- 市 長 あいさつ

コロナ禍の中お集まりいただきありがとうございます。  
この環境審議会は豊明市の重要な位置づけにあります。  
第2次環境基本計画の中で「ごみの減量とリサイクルの推進」がうたわれています。また、市民の方との話し合いの中で、4年のうちに家庭ごみの量を20パーセント削減できなければごみの有料化を検討すると説明してきました。今後、有料化に踏み切るのか、今までの取り組みを進めていき減量化をはかるのか審議いただきたいと思ひます。ご自由にご意見をいただけたらと思ひます。

### ■議事（1）豊明市家庭系ごみ減量化実施計画の中間報告について

- 事務局 資料「豊明市ごみ減量に関する中間報告」に基づき説明をする。
- 議 長 委員の意見を求める。
- 委 員 草木の減量化について、どのように減量化するのか。
- 事務局 現在、草木は燃えるごみとして処理している。リサイクル（チップ化）することを費用面を踏まえた上で検討していきたい。
- 委 員 燃えるごみの減量化の中に、プラスチックについて記載があるが、どうということか。
- 事務局 プラスチック容器包装ごみについては資源化しているが、プラスチック容器包装以外のプラスチック製品については、現在は燃えるごみとして処理している。今後、プラスチック製品も含め一括回収し、資源化していくことを検討していく。
- 委 員 プラスチック容器包装ごみについて、スーパーではトレイ等細かく分類している。市でも推進したらよいと思ひます。

- 事務局 現在市では、トレイ等はプラスチック容器包装ごみとして収集し、容器包装リサイクル協会を通して、一括して資源としてリサイクルしている。
- 委員 大脇区が燃えるごみ減量化モデル地区になっているが、分別等ができていない地区を重点的に取り組んだほうがいいのではないかと。
- 事務局 環境課から大脇区に燃えるごみ減量化モデル地区として取り組んでもらえないかと話をしたところ快く引き受けてくれた。
- 市長 大脇区はとてもし事が多い区であるが、コロナの影響で実施できないことが多くなり、区民の絆が弱まってしまふことを危惧し、区民みんなのできるごみの減量化に取り組むたいという話があった。そのためごみ減量化モデル地区となつていただいたという経緯である。区長がリーダーシップを取り、取り組んでいただき、今後各区に広がっていけばいいと思う。
- 委員 生ごみの水切りはかねてよりの課題である。半分の世帯が生ごみの水切りを実施しただけでかなり変わってくる。具体的にはどのように進めていくのか。
- 事務局 啓発につけると考える。広報でのお知らせの頻度を上げ毎月掲載し、具体的な例を示していきたい。
- 委員 以前、豊明市では生ごみの堆肥化をしていたと思うが、それで生ごみは減るのではないかと。
- 事務局 現在はコンポストの補助をしている
- 市長 数年前まで市内8,000世帯に限り生ごみ分別を実施していた。しかし、一部の地域のみであり、市内全域の生ごみ堆肥化を進めるには、堆肥センターの処理能力がなかった。新たに建築するには莫大な費用も必要となり困難であった。また、対象地区の区長より生ごみ分別は大変だとの申し出もあり、全区長の了承を得たうえで取りやめることとなった。
- 委員 生ごみを水切りする程度のことであれば、団体としても取り組みやすいので声をかけていきたい。
- 事務局 ご協力お願いしたい。環境課でも出前講座等可能である。
- 委員 「リユースの促進」とあるが、フードドライブの常時の受け皿がない。こういった取り組みは、燃えるごみの減量につながる。

## ■その他

- (1) 阿野大気環境常時測定局について
- (2) 住宅用地球温暖化対策設備等設置費補助金について

議 長        それでは、最後に事務局より連絡事項をお願いします。

事務局        本日報告をした「豊明市家庭系ごみ減量化実施計画」の中間報告について、7月11日市内3会場で市民の方に報告する。また資源分別に関する説明もあわせて行う。

議 長        それでは、本日の審議会を終了する。